

令和7年度 第1回 大阪市立堀江小学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立堀江小学校

校園長名 山口 裕二

日 時		令和7年5月12日(月)	
場 所		大阪市立堀江小学校	
出席者	委員など	委員6名	
	校園	5名	
	区役所	1名	
議題		・学校の状況(児童・保護者・教職員・東学舎・西学舎) ・令和7年度「運営に関する計画」 ・令和7年度の重点目標と目標達成の手立て ・主な教育活動、取組の概要	
		協議の結果	
		意見の概要	
		(1) ○経営方針	○教育活動グランドデザイン 東学舎・西学舎がともに寄り添い、力を合わせて時には競いながら、人数が多くてもていねいな教育ができる学校をめざしていく。「チームほりえ」として、地域の方々や関係諸機関、区役所と連携し、児童の笑顔を大切に、夢の実現に向けて取り組む。
	(2)	○本校の令和7年度の状況について	○児童数について 東学舎1,088名、41学級。特別支援学級・自校通級の在籍は61名。外国籍児童は33名。内日本語指導を受けている児童は24名。地域別児童数では、校区外から来ている児童が113名。 西学舎407名、18学級。特別支援学級・自校通級の在籍は25名。外国籍児童は17名。内日本語指導を受けている児童は3名。地域別児童数では、校区外から来ている児童が73名。
			○新1年生は273名。76園を超える幼稚園等から入学している。インターナショナルスクールから入学してくる児童が

			増えている。幼児施設から1人で入学してくる児童の割合が増えている。知り合いのいない中でスタートするという課題がある。
(3)	○「令和7年度運営に関する計画」について ・全員一致で承認される。	(1)「安全・安心な教育の推進」 (2)「未来を切り開く学力・体力の向上」 (3)「学びを支える教育環境の充実」 前年度の反省を踏まえ数値目標を変更したところもあるが、昨年と同様の取組を行う。	
(4)	○今年度の取組について	○年3回いじめ調査 ○QU 検査による、児童の実態把握と改善 ○防災・交通安全・生活安全教育 ○道徳交換授業、高学年教科担任制 ○ICT を活用したプログラミング教育 ○「個別最適な学び」「協働的な学び」 ○国語科の校内授業研究継続 ○教育 DX の推進 ○スクールサポーター活用して長時間勤務削減 ○がんばる先生支援継続研究 ：安心・安全な学校づくり ：保幼小中連携	
(5)	○その他のご意見	○子ども会活動で中国語を話している児童を見かける。日本語がわからな外国籍児童への対応に先生が苦慮されているだろう。 ○先生は通常に授業を行うだけではなく、SNS の使い方などプラスアルファの指導が多くなっているので、先生をめざす人が少ない。子どものために先生方を守りたい。 ○天理市の取組で学校問題解決のための支援体制の構築に向けた事業を行っている。ホットステーションが学校に代わり保護者対応を行っている。学校だけで全部対応するのは難しい。調査によると教職員の7%が負担を感じている。先生に成りたいと思って、魅力のある先生になってもらいたい。 ○中学校では朝会を行うと遅刻が減る傾向にある。ただし、遅刻は親の啓発が必要で、子どものせいだけにできない。 ○以前は幼稚園が多かったが、今は保育園からの入学者が多くなった。 ○保育園・幼稚園・こども園から中学校卒業までうまく接続ができるとよい。 ○1年生から3年生まで各3クラスの学校は10人の先生が全員で子どもをみて	



			いくが、9クラスの学校は先生が全ての子どもを分かっていない。大きな学校はメリットが少ない。 ○1年生と6年生では発達に差がある。この人数は、小学校の先生は大変である。小学校の課題を中学校と共有しながら幼から12年間を一つの流れとして接続できるように出来たら良い。 ○若い先生が先生になってよかったと思い、子どもが良い教育を受けることができるように、地域は先生を守り、学校を守っていく。
協議資料	① 経営方針 ② 令和7年度「運営に関する計画」 ③ 児童に関する基本データ ④ 一年生児童の就学前の状況 ⑤ 安心・安全ルール in 堀江 ⑥ 令和7年度「校長経営戦略支援予算」申請書（東学舎・西学舎） ⑦ 令和7年度「がんばる先生支援」申請書		
備考	傍聴者[0]名		